

にこにこ通信

(令和4年度 冬号)

寒い冬も楽しい発見いっぱい！

寒さが一段と増す季節になってきましたが、園内では子どもたちの笑顔や元気な声であふれています。そんな南浅間保育園の子どもたちと冬だからこそその楽しさや遊びを見つけて、元気に過ごしたいと思います。

氷見つけた！



いらっしゃいませ！
いちごのかきごおり
です！

つめたい！
こおりだ！

寒い日の朝、園庭の土の中に「こおり」を発見！霜柱を触って「つめたいよ」と自然の寒さ感じたり、道具を使うと『冷たくない』と気づいたり、発見がいっぱいです。

シャベルで霜柱をすくい、器に集めて、おままごとが始まりました。ナンテンの実を混ぜて「かきごおりつくったよ」とかき氷屋さんになる子もいます。園庭にある自然物で子どもたちは、いろいろな物に見立てて遊びを楽しんでいます。

冬の伝承あそび

子どもたちが凧を手に持ち、園庭を元気に走ります。体もぼかぼかになって、自分で作った世界で一つの凧が高く舞い上がります。



たこたこ
あがれ！

(凧) まで～



これ
なに？

かおだ！

初めて見る『福笑い』に興味津々の2歳児クラスの子どもたち。自由な発想で顔のパーツをおいて、楽しみました。

『福笑い』、『紐コマ』、『かるた』お部屋の中にも冬の遊びがたくさんあります。